



魂を洗う男の島旅・春

竹富島で真の強さを身につける滞在

竹富島は開放的な自然と伝統が守られる島。そこには、島に暮らす人々の原始的でありながらも合理的な知恵が備わった生活スタイルが息づいています。それらの自然・文化を全身全霊で体験することで、現代生活では忘れられがちな人間本来の逞しさやしなやかさを取り戻し、人間本来の強さを身につけるプログラムをご提供します。

「体」自分と向き合う浜ボルダリング



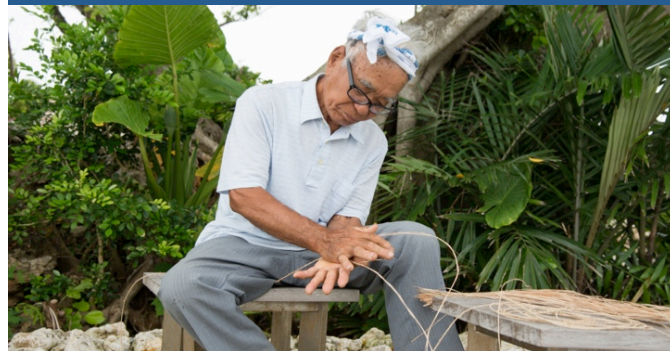
星のや 竹富島に隣接するアイアル浜でボルダリングに挑戦します。琉球石灰岩の鋭い岩肌を指先で感じ、自分の体だけを頼りに自然を制していく経験を通して、都会生活では鈍りがちな全身に血液と神経が通う感覚を取り戻し、ひいては魂を見つめ直す時間となります。激しい運動で疲れた体には、竹富島の穏やかな春の日射しと穏やかに漂う波の音が癒しをもたらします。インストラクターと一緒にいきますので初心者でも参加できます。

「心」御嶽を巡る神聖な旅



島内に28ヶ所ある御嶽(おん・沖縄の信仰における神の住まう場所)。島人と一緒に自然と一体化し原始的な信仰の形を留める御嶽を巡り、神聖な風に触れ心に纏った垢を洗い流します。

島人の「技」を身につける



竹富島でも随一の民具づくりの名人から縄編みとピン玉づくりを学びます。自然の中で賢くしなやかに生きる島人の普遍的な強さを感じます。

星のや 竹富島 「魂を洗う男の島旅・春」

2015年3月1日～5月31日 2泊3日の滞在型プログラム

含まれるもの：宿泊費、ボルダリング体験もしくは御嶽ツアー、縄編み体験、星のやスパトリートメント(1回)、シマ巡りBARでお好きなドリンク(1杯)(夕食・朝食・昼食は別料金)

「心編」1名1室利用時 お一人様123,500円～(税別・サービス料別)

「体編」1名1室利用時 お一人様148,500円～(税別・サービス料別)

「心」「体」両方利用の場合 1名1室利用時お一人様168,500円～(税別・サービス料別)

リリースのお問い合わせ先

星野リゾート グループ広報
TEL : 03-5159-6323
FAX : 03-6368-6853
E-mail : pr-info@hoshinoresort.com



＜補足資料＞



携帯電話を忘れ読書に没頭

到着したら携帯電話とPCをお預かりします。代わりに、客室には沖縄や八重山の文化・歴史に関する書籍をご用意。圧倒的な非日常の空間で、悠久の物語に想いを馳せる自由な時間をご提案します。



シマ巡りBARで泡盛談義

シマ巡りBARで島人の命の水とも言える泡盛を使った、星のやこだわりのオリジナル泡盛カクテルを片手に、バーテンダーと語り合うひととき。



星のやスパで島時間を堪能

滞在のハイライトは島時間スパで究極のリラックス。一軒家のスパ棟を吹き抜ける緩やかな風を感じながら、心地よい香りのオイルトリートメントで疲労がたまってお身体をゆるめます。

＜滞在スケジュール例＞

1日目

- 15:00 星のや 竹富島ご到着
客室にて携帯電話・PCをお預かりする
- 16:45 夕風の唄ご鑑賞
- 19:00 ご夕食 (別料金)
- 21:00 シマ巡りBARにて泡盛カクテルを楽しむ

2日目

- 7:00 よんなー深呼吸
- 7:30 朝食 (別料金)

- 御嶽めぐり もしくは ボルダリング
御嶽めぐり 9:00～14:00 (昼食含む)
ボルダリング 10:00～13:00
13:00～ 昼食 (別料金)

- 15:00 縄編み体験
- 20:00 ご夕食 (別料金)
食後はお部屋にて読書に没頭する

3日目

- 8:00 朝食 (別料金)
 - 10:00 星のやスパ「憩」
 - 12:00 チェックアウト
お預かりしていた携帯電話・PCをご返却
- ※「御嶽めぐり」「ボルダリング」両方の参加を希望される場合にはスケジュールを変更します。



竹富島は周囲約9.2km、面積約5.4km²。人口は350人程度の小さな島です。しかし、御嶽が全部で28ヶ所配置され、年間25もの祭事が行われる信仰心の厚い、神様と島民とが一体化した神聖な島でもあります。



竹富島の伝統的な建築工法に基づいて建てられた客室。グックと呼ばれる石垣は、職人がひとつひとつ手積みしたもの。適度に風が抜けるため猛烈な台風からも建物を守る。自然と共生する知恵が建物にも活かされています。

星のや 竹富島

2012年6月に開業した「離島の集落」。羽田から直行便で約3時間半。石垣島からフェリーで10分。竹富島の東、アイヤル浜海岸に向かう蝶の道を進むと、真新しい琉球赤瓦の集落「星のや 竹富島」が現れます。約2万坪の敷地には、島内の家々と同じように「竹富島景観形成マニュアル」に従い、伝統を尊重して建てた戸建の客室、白砂の路地、プール、見晴台など小さな集落が構成されています。防潮林を抜けるとアイヤル浜に続き、まばゆい白砂と、珊瑚の島ならではの青い海が広がっています。

